

パネルディスカッションⅡ

職務創出とその支援 ～障害者雇用をしていくために～

【コーディネーター】

古谷 護

(障害者職業総合センター 職業リハビリテーション部 次長)

【パネリスト(話題提供順)】

坂田 修平

(コマツ 本社人事部ビジネスクリエーションセンタ 主査)

堀江 美里

(特定非営利活動法人WEL'S 副理事/

就業・生活支援センターWEL'S TOKYO センター長 兼 主任職場定着支援担当)

鈴木 崇志

(南東北グループ 医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院 総務課 課長心得)

市川 美也子

(千葉障害者職業センター 主幹障害者職業カウンセラー)

職務創出とその支援 ～障害者雇用をしていくために～

障害者雇用を進める際に、多くの企業が「社内には適当な仕事がない」ということを課題として挙げています。「職務創出」は、障害者雇用に取り組む企業の現場だけでなく、相談を受ける支援機関においても課題になっていると考えられます。

一方で、適当な仕事があったとしても、社内の障害者雇用に関する取組方針の検討や理解が十分でなかったり、業務内容とご本人の適性が合わなかったりすると、結果として職場定着につながりづらいという実態も見受けられます。障害者雇用を継続していくためには、「職務創出」のみに着目するのではなく、経営戦略の中でどのように障害者雇用を位置づけていくのかを考えていくことや社内の理解促進も重要です。

そこで、本ディスカッションでは、本社人事部から全国の事業所へと障害者雇用を展開していった企業とその企業の支援にあたった機関、そして総務部の仕事からはじまり看護部などへと障害のある方の業務を拡大してきた病院、各地域の企業を支援する立場である当機構の地域障害者職業センターから具体的な取組内容を報告します。企業側、支援機関側双方の取組を紹介することで、継続的な雇用に向けた職務創出について、企業と支援機関それぞれの立場から考えていきます。

コーディネーター	古谷 護
	障害者職業総合センター 職業リハビリテーション部 次長

パネリスト	坂田 修平 氏
	コマツ 本社人事部ビジネスクリエーションセンタ 主査 (東京都港区)

就業促進のために「自社内雇用」を障がい者雇用の基本方針として位置づけ、支援機関と連携しながら本社人事部から全国の事業所（工場）へと障がい者雇用を拡大していった取組の内容を紹介します。

パネリスト	堀江 美里 氏
	特定非営利活動法人 WEL'S 副理事／ 就業・生活支援センターWEL'S TOKYO センター長 兼 主任職場定着支援担当 (東京都千代田区)

コマツ様が障害者雇用を進める中で、支援機関としてサポートした内容を紹介するとともに、企業に寄り添う支援を行うにあたっての姿勢や連携のあり方などについて支援業務の経験をもとに紹介します。

パネリスト	鈴木 崇志 氏
	南東北グループ 医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院 総務課 課長心得 (神奈川県川崎市)

障害のある方の業務について、総務課の業務からはじめ看護部などへと業務の切り出しを広げていくにあたり、病院内の理解促進やサポート体制などの課題にどのように対応していったのか、その取組について紹介します。

パネリスト	市川 美也子
	千葉障害者職業センター 主幹障害者職業カウンセラー (千葉県千葉市)

支援の現場において企業側から寄せられる悩みや課題はどのようなものがあるか紹介するとともに、当機構地域障害者職業センターにおける事業主支援の取組などについて紹介します。